

第九回 西郷隆盛をしのぶ
維新ふるさと館書道展 開催中



●応募作品1,843点すべてを展示します

書をこよなく愛した西郷隆盛の偉業や人徳をしのんで開催される同書道展も今年で9回目。今年は県外からの応募も多く、全体で昨年を大幅に上回る1,843点の出品がありました。

日 時：平成28年9月24日(土)～
同年10月23日(日)
会 場：維新ふるさと館内

今年も力作がずらり。ぜひご覧ください。

維新ふるさと館オリジナルトロフィーは、桜島の火山灰で出来た西郷人形と、溶岩を加工した台座で出来ており、当館職員が手づくりしています。鹿児島ならではのご当地トロフィーです。

●鹿児島はやはり西郷さん



読書の秋、
明治維新に思いをはせて…

この秋、維新ふるさとショップにブックスマスミから10冊の明治維新関連書籍が仲間入り。これで当ショップの書籍は39点に。ますます充実した書籍コーナーにぜひ立ち寄りください。

●西郷隆盛
関連書籍も充実

＜新書籍＞

- | | |
|---------------------|-----------|
| ■西郷隆盛 命もいらず名もいらず | (WAC) |
| ■「西郷南洲手抄言志録」を読む | (致知出版社) |
| ■サムライたちの幕末・明治 | (洋泉社) |
| ■明治維新1858-1881 | (講談社) |
| ■勝海舟と西郷隆盛 | (岩波新書) |
| ■薩摩の秘剣 野太刀自願流 | (新潮社) |
| ■明治維新と幕臣「ノンキャリア」の底力 | (中公新書) |
| ■西郷隆盛 | (岩波新書) |
| ■衝天の剣(上) | (角川春樹事務所) |
| ■破天の剣 | (角川春樹事務所) |



温故地新

ふる 故きを温ね、たず 地元を新たに。

■平成30年NHK大河ドラマ「西郷どん」に決定!!

明治維新150年を迎える平成30年のNHK大河ドラマが、西郷隆盛を主人公にした「西郷どん(せごどん)」に決定しました。原作・林真理子、脚本・中園ミホの強力タッグから生み出される西郷隆盛。これから決定する出演陣にも注目です。

大河ドラマの舞台となる鹿児島を、全国にPRするチャンス。私たち維新ふるさと館も、鹿児島の歴史を紹介する施設として、全力で応援していきます。



■館内Free Wi-Fi&タブレット貸出開始

外国人観光客から要望の多かった館内Free Wi-Fi。無線LANの整備が完了し、9月から利用できるようになりました。会員登録などは不要で、来館者は誰でもご利用いただけます。



●音声ガイドは
日・英・繁・簡・韓に対応

それに伴い、音声ガイドアプリのはいったタブレットも貸出開始。「音声ガイドアプリで展示説明が聞きたいけれど、タブレット、スマートフォンは持ってないわ」と、これまで諦めていた来館者にとても喜ばれています。

■教職員歴史講座「熱く」なる



●筋肉痛だが心地がいいという感想も

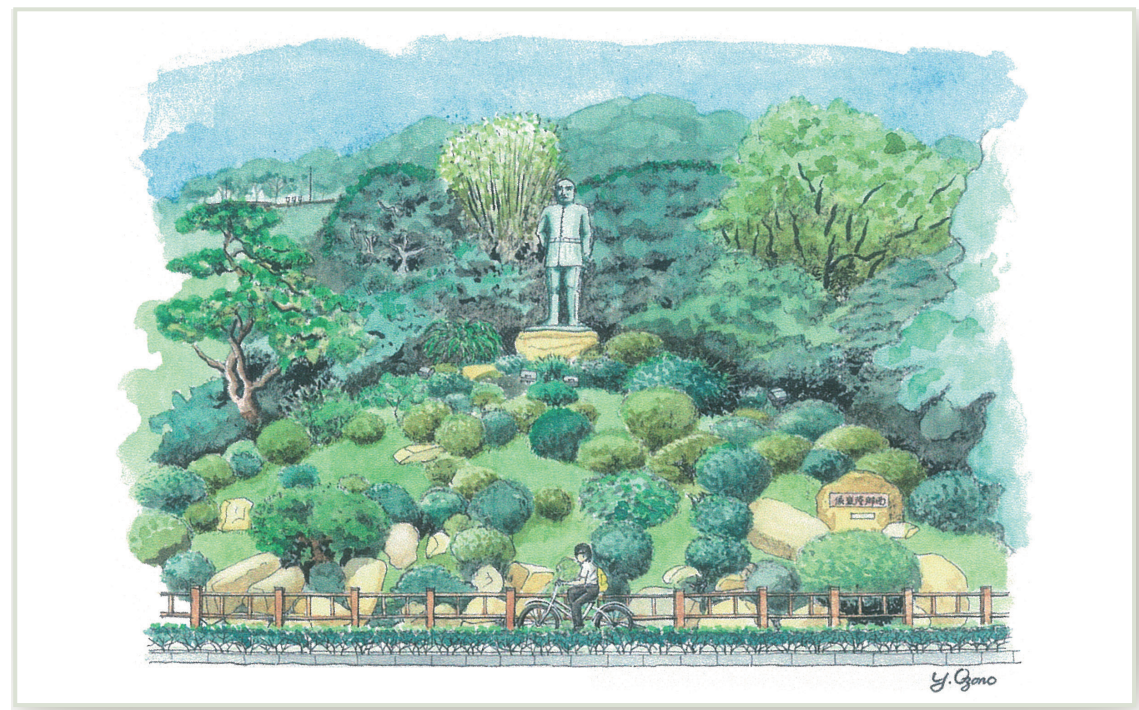
毎年、人気の自願流実技体験。受講者からは「郷中教育の講義と結びつき、薩摩活躍の礎を作ったものであるということがよく分かった」「このような機会がない限り、実際に体験することは難しい。とてもよい経験になりました」という感想がありました。

明治維新を分かりやすく、楽しく
ISHIN 維新

維新ふるさと館情報紙
【No.19】

■平成28年(2016年)秋季号
■発行：鹿児島市 維新ふるさと館
〒892-0846 鹿児島市加治屋町23番1号
TEL.099-239-7700 / FAX.099-239-7800
http://www.ishinfurusatokan.info

西郷銅像の制作に全力を傾注した安藤照



西郷隆盛像と城山展望台(鹿児島市城山町) 画 / 大園 康広

維新を
歩く

西郷銅像を制作した安藤照は明治25年5月、鹿児島市新屋敷町に生まれた。県立二中(現甲南高校)から東京美術学校を経て昭和6年「魁入社」を興し、照国神社に建つ島津斉彬像、久光像、忠義像の「三公像」を制作した大分出身の朝倉文夫や、東京上野の西郷銅像を制作した高村光雲とともに、三人は当時もっとも嘱望された彫刻家たちであった。

安藤照は昭和12年5月23日の除幕式に続き、翌日行われた「銅像建立奉告祭」で、「私自身も全力を傾注しました、遺憾に思う点ありません」と10年間全力を尽くした満足感を述べている。また「これが成功か否かは、見てくださる人によって決定づけられることでもあります」とも述べ、「もし、成功であるとすれば、それは全く人等の御援助のたまものである」と結んでいる。1年以上かけ

た築山の造成工事も、安藤自らが陣頭に立ち、小中学生をはじめ延べ3万4千人余りがバケツリレーやモッコ等で運搬奉仕し、安藤夫人も海岸からの採石などにかかわったという。

安藤照は子息の士とともに、父子二代にわたり東京渋谷の「忠犬八公像」を制作したことでも有名であるが、昭和20年5月25日の東京大空襲により、東京代々木の自宅にて娘さんら6人とともに爆死した。

平成30年の明治150周年記念の年、大河ドラマが「西郷どん」に決定した。新屋敷には安藤照の誕生地碑がすでに建てられているが、これを機会に安藤照の偉業を偲び、顕彰する機会が来ることを願っている。

薩摩は「武の国」だけではない。多くの芸術家を生んだ「文化の国」でもあることも認識したいものである。

(文/福田賢治維新ふるさと館特別顧問)



2016 10月23日～11月6日 薩摩維新ふるさと博 開幕 当館でもイベントいろいろ!

維新ふるさと館古書店

鹿児島に関わる多彩な歴史関連の古本のフリーマーケット。県内外の古書店から珍しい本も大集合!10月25日(火)から11月6日(日)毎日開店。この機会に是非お越しください☆
●詳しくは、チラシをご覧ください



記念シンポジウム

事前応募制

10月23日(日)、薩長同盟・坂本龍馬新婚旅行150年記念シンポジウムを開催します。一龍齋貞弥氏による講談と当館福田特別顧問も登場するパネルディスカッションもあります。
■問い合わせ: かがしま探検の会(099-295-3757)

薩長同盟・坂本龍馬新婚旅行紹介コーナー

期間中、館内にて薩長同盟や坂本龍馬新婚旅行の解説コーナーを設置。これで薩長同盟について一目でわかること間違いなし。

「語りて候」in鹿児島

前売り券発売中!!

11月5日(土)・6日(日)薩摩の女性たちの生き様を「薩摩かんまち言葉」と和楽器による演奏で伝えます。
■問い合わせ: NPOかがしまフィルムオフィス(090-1349-5740)
●詳しくは、チラシをご覧ください



維新カフェ

薩摩スチューデントが航海中に飲んだであろう珈琲を提供。音楽を聴きながら…甲突川を眺めながら…陽気なマスターとの会話ははずむかも…。



武家屋敷お芝居

当時の暮らしをモチーフに、武家屋敷をつかったお芝居を今年も開催!平日2回・土日祝は4回。4つの演目を準備しています。



●昨年も大好評

天然温泉足湯も登場

11月5日(土)・6日(日)は、無料で天然温泉の足湯も楽しめます。



維新の調べ♪

前売り券発売中!!

10月29日(土)18時30分から音楽で薩摩スチューデントの足跡をたどります。音楽と当館福田特別顧問の歴史トークで素敵な時間を過ごしてみませんか?
■問い合わせ: 維新の調べ実行委員会(099-247-6207) 維新ふるさと館(099-239-7700)
●詳しくは、チラシをご覧ください



作品展 鹿児島県小学校 社会科作品コンクール作品展



●当館での開催は4回目(写真は昨年度)

夏休みの社会科自由研究作品を募集・審査し、優秀な作品を展示する「鹿児島県小学校社会科作品コンクール作品展」が11月13日(日)から11月20日(日)まで当館で開かれます。毎年、レベルの高い作品が並び、観光客にも「鹿児島の小学生は研究熱心ですね」「小学生らしい着眼点に驚きます」と好評です。今年はどんな作品が見られるのでしょうか。ご期待ください。

鹿児島県小学校教育研究会社会科部会 西原 真琴 広報部長(鹿児島市立春山小学校)
今年も200点余りの作品が寄せられ、充実したコンクールになりました。
今年の出品作品を見ると、自分の住んでいる地域の特徴や身近な地域での生産活動の様子、郷土の自然遺産や歴史・文化遺産、防災、情報や福祉など、幅広い内容になっています。
多くの皆さんが、入賞した作品の数々をご覧いただき、小学生の「頑張り」から何かを発見していただければ幸いです。

イベント 維新ふるさと館×西郷南洲顕彰館 歴史フォーラム開催

維新ふるさと館では、西郷南洲顕彰館と連携して「維新ふるさと館×西郷南洲顕彰館 歴史フォーラム」を下記の要領で開催します。詳しくは、チラシをご覧ください。

- と き: 平成28年11月27日(日)13:30～
- と ころ: サンエールかごしま

今回のフォーラムでは県が発行した「明治維新と郷土の人々」をもとに、明治維新期の庶民にスポットをあて、講演と皆さんからの質問で構成、明治維新についての認識を深めます。
平成30年に迎える明治維新150年、またNHK大河ドラマ「西郷どん」にむけて、2館連携しながら盛り上げていきます。皆さまのご来場、ご質問をお待ちしています。
西郷南洲顕彰館は、西郷南洲100年記念事業として1977年にオープン。ジオラマなどで西郷の生涯・思想・業績などをわかりやすく紹介し、西郷の遺品や西南戦争に関する資料を多数展示しています。



●西郷南洲顕彰館は南洲墓地(鹿児島市上尾町)に隣接



西郷南洲顕彰館 徳永和喜館長
鹿児島生まれ。高校教諭、鹿児島県歴史資料センター黎明館学芸課長、鹿児島大学非常勤講師を経て、今年度から館長に就任。「鹿児島の歴史のことなら何でも話しますよ」と穏やかな口調で話されます。

今回のイチオシ 鹿児島征討図(錦絵)



●縦26.5cm×横85cm

西南戦争を扱った錦絵の一枚であるが、作者・版元は不明である。右上に次のような解説がついている。
旧陸軍大将正三位西郷隆盛が中心となり、政府への尋問を名目として、篠原・桐野などのほか諸將総勢二万四千有余人を水俣、人吉、八代などの兵と合わせ、熊本を目指して押し寄せた。熊本鎮台の陸軍も将兵を出して計略を巡らし、賊軍(西郷軍)を悩ましたが大軍のため侮りがたく、熊本城にこもって防御することにした。薩軍は、花岡山に砲台を築いて城を囲み攻撃したが、城中の官軍もなかなか屈する気配がない。しかるに政府軍は二月二十四日有栖川宮熾仁親王を征討総督に任じ、薩軍の征伐を仰せ出され、親王は鎮定に向かわれた…。
場面は、馬上の桐野利秋指揮する薩摩軍が、熊本城に押し寄せている様子である。前年の萩の乱で斬首された前原・誠が描かれているなど、史実に即したものではない。しかし政治と道徳の一致を図るとする明治新政府の指針「新政厚徳」の旗を掲げている様子が描かれるなど、当初の理想と違う新政府の政治に不満を持つ庶民の、西郷軍への人気の一端を感じさせるものとなっている。